

**製品名: DHRS4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09971**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	32-34kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DHRS4
別名	DHRS4; Dehydrogenase/reductase SDR family member 4; NADPH-dependent carbonyl reductase/NADP-retinol dehydrogenase; CR; PHCR; NADPH-dependent retinol dehydrogenase/reductase; NRDR; humNRDR; Peroxisomal short-chain alcohol dehydrogenase; PSCD
遺伝子 ID	10901.0
SwissProt ID	Q9BTZ2
免疫原	抗血清はヒト DHRS4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 191-240

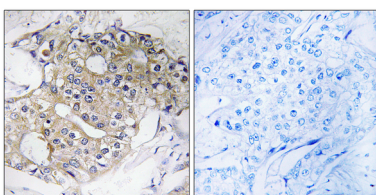
## 背景

触媒活性:  $R-CHOH-R' + NADP(+) = R-CO-R' + NADPH$ 。機能: オールトランスレチナールおよび 9-シスレチナールを還元します。NADP を補酵素としてオールトランスレチノールの酸化を触媒することもできますが、効率ははるかに低くなります。アルキルフェニルケトンおよび芳香族環を有する  $\alpha$ -ジカルボニル化合物 (ピリミジン-4-アルデヒド、3-ベンゾイルピリジン、4-ベンゾイルピリジン、メナジオン、4-ヘキサノイルピリジンなど) を還元します。脂肪族アルデヒドおよびケトンに対して活性を持たない。、その他: ケンフェロール、ケルセチン、ゲニステインおよびミリスチン酸によって阻害される。、類似性: 短鎖脱水素酵素/還元酵素 (SDR) ファミリーに属する。、細胞内局在: アイソフォーム 1 はペルオキシソーム内であるが、アイソフォーム 4 はペルオキシソーム内ではない。、サブユニット: ホモ四量体。、組織特異性: アイソフォーム 1 は主に正常な子宮頸部で発現する (タンパク質レベル)。アイソフォーム 4 は一部の腫瘍性子宮頸部組織で発現するが、正常な子宮頸部では発現しない (タンパク質レベル)。アイソフォーム 5 および 6 は少数の腫瘍性子宮頸部組織で発現する。、触媒活性:  $R-CHOH-R' + NADP(+) = R-CO-R' + NADPH$ 。、機能: オールトランスレチナールおよび 9-シスレチナールを還元する。NADP を補酵素として、オールトランスレチノールの酸化を触媒することもできますが、効率ははるかに低くなります。ピリミジン-4-アルデヒド、3-ベンゾイルピリジン、4-ベンゾイルピリジン、メナジオン、4-ヘキサノイルピリジンなどの芳香族環を持つアルキルフェニルケトンおよび  $\alpha$ -ジカルボニル化合物を還元します。脂肪族アルデヒドおよびケトンには活性がありません。、その他: ケンフェロール、ケルセチン、ゲニステイン、ミリスチン酸によって阻害されます。、類似性: 短鎖脱水素酵素/還元酵素 (SDR) ファミリーに属します。、細胞内局在: アイソフォーム 1 はペルオキシソームに局在しますが、アイソフォーム 4 はペルオキシソームに局在しません。、サブユニット: ホモテトラマー。、組織特異性: アイソフォーム 1 は主に正常な子宮頸部で発現します (タンパク質レベル)。アイソフォーム 4 は一部の腫瘍性子宮頸部組織で発現しますが、正常子宮頸部では (タンパク質レベルでは) 発現しません。アイソフォーム 5 と 6 は、一部の腫瘍性子宮頸部組織で発現します。

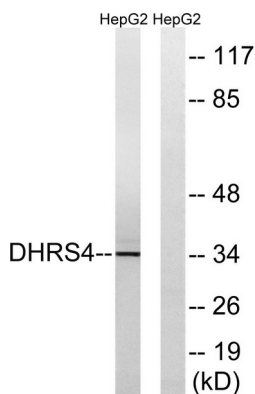
## 研究分野

レチノール代謝;

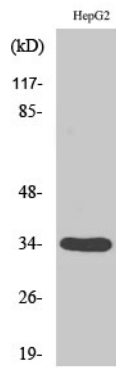
## 画像データ



DHRS4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



DHRS4 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 に希釈した DHRS4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析